



## 活動の成果ステップに

百年塾10年間の活動の成果や課題を話し合いながら、さらに新しい事業も加えて、多くの市民のみなさんに理解される百年塾を目指しています。人づくり、まちづくりが実現できるように活動を続けていきます。

### 市民教授のつどい 役割は学習のサポーター

2月20日(土)に研修と情報交換を目的に市民教授のつどいを開催、市民教授がめざすものと役割を話し合い、学校支援の百年塾ゲストティーチャーの説明をしました。

永井副本部長が市民教授の役割について考え方を示しました。

百年塾は市民の視点と感覚で、企業・学校も含めた生涯学習として、まちづくり、人づくりを理念に掲げ活動してきました。

百年塾の原動力は人です。具現化するための推進委員と、知識や能力を生かし学び合う市民教授です。再登録を機に新たな気持ちで、知識を分かち合うという姿勢で活動してほしい。市民教授ネットワークにも期

待を寄せました。

#### あらたな学校支援

また、学校教育部からは新年度からはじまるゲストティーチャーについて説明をしました。

今、幼稚園や小・中学校ではさまざまな体験やふれあいを通して、心豊かな子どもたちを育てようとしています。これを市民教授が持っている知識や経験、技術などで支援しようとするものです。

どんなサポートができるか考えてほしいと登録を呼びかけました。

分科会でもゲストティーチャーについて多くの意見がでました。

●不安はあるがすでに実施した学校もある。●学校に地域の教育力を

入れよう。●地域性も出す必要がある。●市民教授でなく地域の人でもよいので。●主は先生、あくまでも補助的な役割。協力者であることを忘れないで。●この制度をPRしよう。●共に育てるという気持ちで。●この制度を育てるのは市民教授の役目。●先生とよく話し合うことが重要。



#### ゲストティーチャーのきまり

①謝礼はありませんが、交通費の規定があります。②学校との詳しい事前打合せがあります。③事故に際しては保険でカバーします。

#### みらい委員会

### 10年間 & 未来 徹底討論

百年塾は生き生きと百年を生きるために、まち全体を学び舎にして、いつでも、どこでも、なんでも、学び・教え合う共生システムで、市民、企業、行政が話し合い知恵を出し合いながら市民主体で進めてきました。10周年を契機にもう一度原点に戻り、市民に理解され、さらに活発に進めるために「みらい委員会」を発足しました。

永井委員長に聞きました。

—現在の状況は

この委員会は5部会の代表で構成、現在は会議を重ね、各部からみた反省を徹底議論し、課題も少し見えてきたところです。

—いくつかの反省点を

各部会の役割が明確でない、進め方を総合的に調整する機能が弱い、テーマごとの部会の必要性などたくさんあります

—原点とは

百年塾プラン策定にあたっては、静岡県掛川市の生涯学習を研究、百年塾も「まちづくり」を基本理念に活動してきましたが、再度、現在の掛川市を学習させてもらいました。

—まとめはいつごろ

3月末に中間報告し、総会で問題提起、7月末にはまとめるように進めています。

—市民参加の機会は

公聴会などで多くの市民の意見を聞く予定です。

—発表の方法は

提言書だけでなく、フォーラムなどで「みらい委員会」がまとめた内容が、多くの人に分かるようにしたいと思っています。



掛川市役所で市長に聞く

■地域の人が海の生きものについて変わる園児たち。これからの学校教育には、必要とされるようになった。



百年塾の事業を推進する市内の幼稚園や小中学校を、百年塾学校教育部会のメンバーが訪問。日頃の全体的な会議等ではなかなか得られない細かな情報交換をしたり、率直な意見や要望などを話し合うよい機会となりました。

2月上旬に行われたこの訪問では、各推進園・校ともに今年度の事業をほぼ成し終えたところが多く、さまざまな体験を通しての貴重な意見がたくさん出されました。

共通の感想としては、「地域と交流を深めることが教育的にいかにか大切であるかを知った。百年塾は地域を考える良いきっかけになった」

一方、「推進園・校としての1年目は、百年塾や開かれた学校づくり

の趣旨を理解し行事をこなすだけで精いっぱい」との本音も語られました。

各推進園・校からの声は次の通りです。

◇地域の人材活用で授業に広がりができた

◇子どもたちのボランティアの概念が広く深くなる

◇フェスタへの参加でスタッフやボランティアの熱意を知った

◇教師自身も生涯学習を学ぶことができた



## 地域を考えるきっかけに

◇市民教授名簿が役立つ

◇地域の情報をもっとほしい

◇準備がしっかりできるよう推進校の指定を早めに知りたい

◇職員の共通理解が必要不可欠

◇開かれた学校への取り組みは地域ぐるみの啓蒙になる

◇これからの教育は地域のサポートを必要とする

#### 各園・校の「うまくすすめるコツ」

◇行事を増やさずにこれまでの行事にうまく組み入れる

◇構えずに教育の幅が広がると考えれば気持ちにゆとりができる

◇人材活用は地元の人を選ぶと親しみが湧き継続できる

◇施設開放は提供する側は寛容の心で。使用する側も応えてくれる

#### 百年塾推進園・校とは

百年塾では、学校を生涯学習の基礎づくりの場と考え、地域の人材活用や施設開放など、地域との交流を軸としたさまざまな事業を推進しています。こうした「開かれた学校」をめざし、積極的に事業を展開しているのが百年塾事業推進園・校です。

指定期間は2年で、平成元年度から市内の幼稚園・小中学校が次々と実施。今年度は新規、継続あわせて12の幼稚園や学校が推進園・校として、地域との交流を重ねながら開かれた学校づくりに取り組んでいます。

### ライフプランセミナー 出前講座

ライフプランセミナーは、企業で定年2～3年前の従業員に定年後20年の生活設計について考えさせようという社内研修会です。

去る2月9日、サンピア日立でH社のセミナーが開かれ、従業員夫妻の50名が参加しました。



夫婦一緒に資料を見たり話し合ったり

## はじめて妻と話す定年後

研修は定年後の家庭経済、健康管理などの話や、人生を豊かにおくるために、定年後「百年塾」で活動している先輩の経験談を聞きました。

参加者は話の途中、夫妻で何か話したり、時々は頷きながら真剣に聞きます。講話終了後何人かに感想を

聞いてみました。「今まで定年後のことを妻と話したことはなかった」「定年後故郷へ帰り、農業をやろうと思うが妻とはまだ相談していない」女性からは「毎日が日曜日でも、なにもしないで、連日家に居られたら、私の生活が狂ってしまいそう。」といった意見が多く、地域活動や生涯学習などについて、夫妻で考え、話し合う良い機会になったようです。

百年塾ではどの企業へでも、出前講座します。希望があれば申込みください。

#### 熟年研究会へどうぞ

熟年が集まり、日立の歴史や再発見、生きがいさがしなど講師を招き、いろいろなテーマで楽しく、月1回の学習会を開催しています。

新しく会員を募集します。関心のある方は、百年塾サロンにご連絡を。

#### より良い病院に 多くの試み

日立製作所日立総合病院ではここ数年にわたり、入院患者や利用者に対するさまざまなサービス、医療業務の整備や向上を図っています。

病院内では廊下や空間を利用したギャラリーを常設。市民から貸与された絵画や写真などが飾られ、温かな雰囲気をつくり出しています。正面玄関ホールでは定期的にコンサートを開催。病床を離れられない人たちにも独自のシステムで、ベッドに備えられたテレビを通しコンサートを楽しむ工夫がされています。

また病院内のいろいろな箇所に「ご意見箱」を設置して利用者の声を聞くことはもとより、ひとつひとつの意見や要望に対して担当者がきちんと回答。整備改善などの対応がとられています。

この他、モニター制度を設け、市民との情報交換をするなど、地域医療への理解普及にも努めています。



ふれあいコンサート風景

校との対応に気を使った。地域の広報紙は幅広い年代対象で難しい。などの声がありました。

#### 古川市民教授のアドバイス

見出し、タイトルにもっとウエイトを。アンケートのまとめはさらに工夫を。安易に行事、運動会に重きを置かないように。学校の広報ではなく、PTAの広報紙としての性格をはっきり出すように。

今年度は若い人たちが活躍が楽しみでした。今後

#### 子育ての強い味方

あなたへの応援歌

看護婦、助産婦として病院勤務の後、市内各地で保育指導や相談員などとして活躍中の水庭由美子さん。



赤ちゃんの健やかな成長と、若いお母さんが安心して育児ができるよう、昨年、母子保健相談室を開きました。自宅敷地内に新設された相談室は水庭さん長年の夢。今は亡き実家のお母さんの後押しもあって実現できたそうです。医療具の寄贈や医師との連携など、嬉しい支援も。子ども連れでお母さん同士が交流できるオープン保育の日もあり好評です。そして何よりも、温かく迎えてくれる水庭さんの笑顔が育児の不安を一掃。自信と安らぎを与えてくれます。

#### 広報セミナー

### みんなに賞あげたい!

1月30日(土)視聴覚センターで広報セミナー「広報紙コンクール表彰とフォーラム」を行いました。

#### 入賞団体

- 本部長賞 日高小P・助川中P・日高学区市民自治会
- 審査委員長賞 豊浦小P・大久保中P・田尻学区市民運動をすすめる会
- 広報部会長賞 大久保小P・水木小P・駒王中P・大みか学区コミュニティ推進会
- フォト賞 金沢小P・台原中P
- レイアウト賞 仲町小P・大久保中P

#### 受賞団体からひとこと

日高学区市民自治会=2年連続本部長賞、15人で紙面を担当制にし年6回発行の努力が報われたものと感謝しています。

豊浦小=編集長からの宿題を家でやり、皆で頑張っただけにうれしい。駒王中=50周年記念誌と重なり、

保護者のアンケート回収にも苦労しました。感激でいっぱいです。

助川中=2ページ増やし、勢いで編集した感じ。苦労したのは載せたい記事と載せる記事に迷ったこと。

日高小=子どもからPTAの話題に変え、4号発行あたりから自信が出てきました。うれしいです。

水木小=写真では苦労しました。役員が1人残り、来年も頑張る自信が湧いてきました。

大久保中=アンケートの数字の処理に悩みました。生徒や親の気持ちを伝えられたらと思います。

大久保小=ページ分担当で編集、バランスをとるのが難しいところです。

会場からは、新聞の見方が変わった。写真の撮り方セミナーは早めに。学



#### オペラ「水の声」講演準備すむ ひたち市民オペラを育てる会

日立市を文化の息づく魅力あるまちに—そうした「芸術によるまちづくり」の一翼を担って3年前に誕生したのが「ひたち市民オペラを育てる会」です。

会では、オペラフォーラムをはじめとした各種イベントの開催、広報活動などを通してオペラの普及に努めています。現在、「泉が森」を舞台としたオリジナルオペラ「水の声」の公演準備が進行中。共に活動する



仲間を募集しています。

◎問い合わせ

「ひたち市民オペラを育てる会」事務局  
日立ビックセンター内日立市科学文化情報財団

☎24-7711 FAX:24-7970 ※会費は無料

#### コミュニティ女性フォーラム

### 「参加したいな」

～地域に根ざしたボランティア活動～

ボランティアへ参加のきっかけづくりや、実践に向けての情報提供、意見交換などを行います。

◎入場無料

◎問い合わせ

日立市民活動課 ☎22-3111内513

3月13日(土)13:00～16:00  
視聴覚センター4F大ホール

#### 基調講演

人にやさしい地域づくり  
—ボランティアを通して—  
《講師》藤田佐和子氏

(あかねグループ代表)

#### パネルディスカッション

地域活動とボランティアの関わり

#### スタッフ募集

#### ホームページ担当

新年度に百年塾ホームページを開設する予定です。

楽しい情報を収集する人やパソコンで応援してくれる人などたくさんの方のスタッフを募集します。

みんなで話し合いながら百年塾らしい情報を世界に発信します。お問合せ 百年塾サロン(Tel.23-9165)